

KYOTOGRAPHIE international photography festival - satellite event 2014 [KG+] 参加展覧会

光のシークエンス：大洲 大作

Sequences of Light : Daisaku Oozu

2014年4月22日[火] — 5月4日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日のみ20:00まで・最終日18:00まで



【広報画像01】

《光のシークエンス — 北陸本線》

©Oozu Daisaku

ご案内

ギャラリー・パルクでは、2014年4月22日[火]から5月4日[日]まで、大洲大作による個展「光のシークエンス」を開催いたします。

本展は2013年に幕開けし、今年で2回目の開催となる国際写真フェスティバル「KYOTOGRAPHIE」のサテライト展である「KG+ (ケージープラス)」への参加展覧会です。また、Gallery PARCでは同期間あわせ、3つの写真展を連続開催いたしますが、本展はその第二弾となる展覧会です。

大洲大作(おおず・だいさく/1973年・大阪府生まれ)は、1994-95年まで大阪国際写真センター(現、IMI 写真表現大学)にて写真を学ぶとともに、1997年に龍谷大学文学部哲学科を卒業。以後、京都・大阪・ベルリンでの発表を経て、2012-13年には東京ステーションギャラリー 再開館記念企画「始発電車を待ちながら」展へと出展するなど、着実に活躍の場を広げています。

代表作である一連の『光のシークエンス』は、そのすべてが列車やバスの内からガラス窓越しに外に向けられた眼差しによるもので、車窓というフレーミングの中を通り過ぎる風景を「連続する光の有り様」として、見慣れた、あるいは初めて訪れた旅先の風景は光に還元され、そこに目に見えない「光景」を浮かび上がらせています。また、その光はストロークや滲みを持った線・面となって、そこに絵画的な抽象性をも見せるものであり、この点から大洲はファインダーによるフレーミングによってプリント上に光景を「描き出している」とも言えるのではないのでしょうか。

流れる(スクロールする)風景からカットアップされた美しくも幻想的な「一瞬(1コマ)」の光景は、「写真」としての本質的な特性を最大限に活用したものであり、写真ならではの表現として見ることができます。しかし、それらが集積・展開される本作において、それぞれの作品は「断片」としてゆるやかな繋がりを見せはじめ、そこに光(時間)の連なりといった事象のみならず、日常や旅情の中にある茫漠とした「物語」をも鑑賞者に起想させるものとなります。

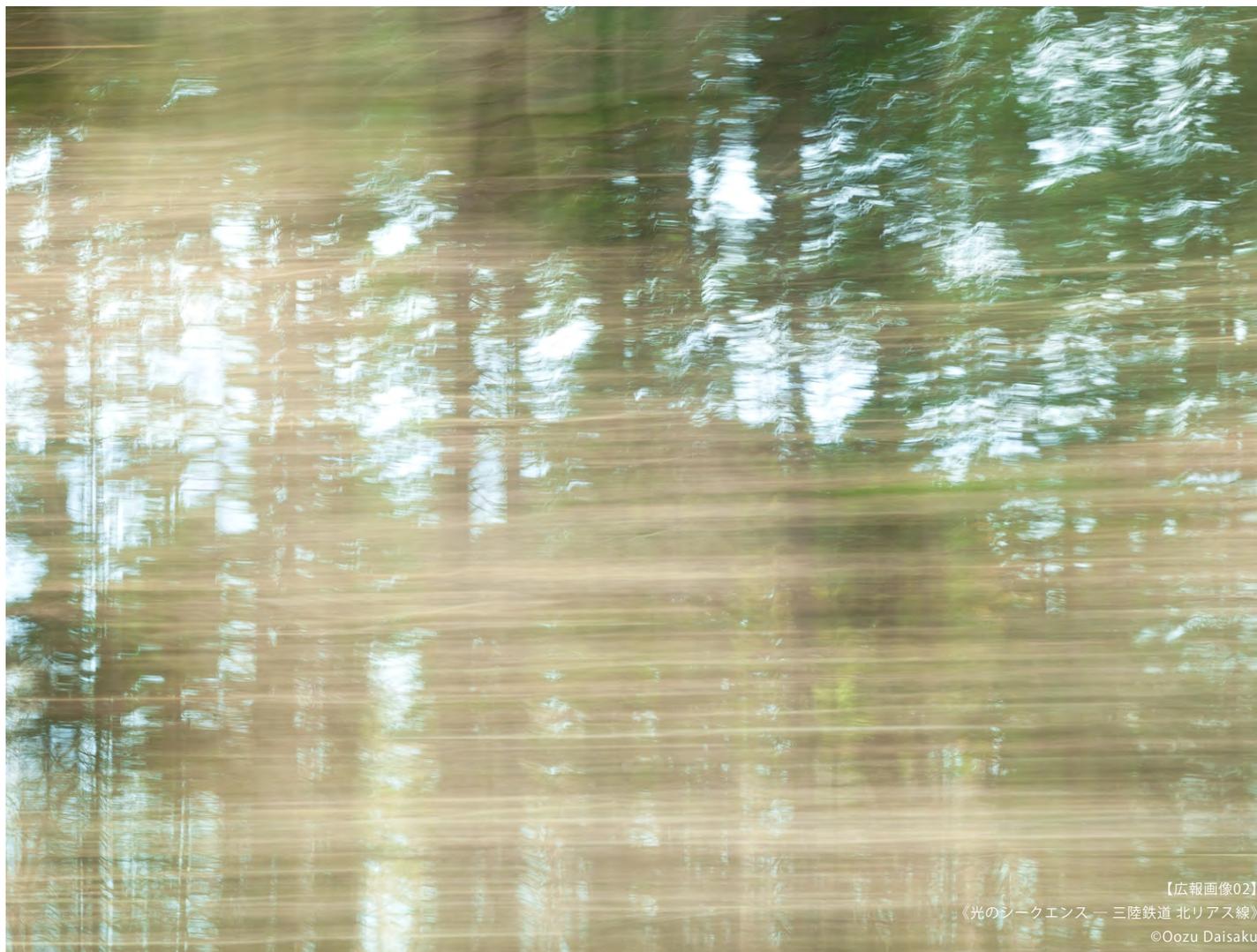
ひとつひとつのコマは鑑賞者の記憶や想像を含みながら、再び連なり、スクロールをはじめます。そして、いつしかそこにもうひとつの「目に見えない光景」をも描きはじめるのではないのでしょうか。

KYOTOGRAPHIE international photography festival - satellite event 2014 [KG+] 参加展覧会

光のシークエンス：大洲 大作

Sequences of Light : Daisaku Oozu

2014年4月22日[火] — 5月4日[日] 11:00～19:00 *月曜日休廊・金曜日のみ20:00まで・最終日18:00まで



【広報画像02】

《光のシークエンスー 三陸鉄道 北リアス線》

©Oozu Daisaku

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、[【info@galleryparc.com】](mailto:info@galleryparc.com)迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 光のシークエンス：大洲 大作 *KYOTOGRAPHIE international photography festival - satellite event 2014 [KG+]参加展覧会

出品作家 大洲 大作 (おおず・だいさく)

会期 2014年4月22日(火) — 5月4日(日) 11:00～19:00 ※月曜休廊・金曜のみ20:00まで開廊・最終日18:00まで

主催 Gallery PARC

料金 無料

展示内容 【写真】列車内から車窓に映る風景を切り取り、そこに光のうつろいを描き出す写真家・大洲大作による『光のシークエンス』シリーズを展示。新旧15点のプリントをはじめ、『光のシークエンス』を検証／再評価しつつ、さらに深めるための実験的な試みも合わせて展示します。

会場 Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク] 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル
【Tel & Fax】 075-231-0706 【Mail】 info@galleryparc.com 【HP】 http://www.galleryparc.com

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。
三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

問い合わせ Gallery PARC (正木・永尾)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ] 2F

【Tel & Fax】 075-231-0706 【Mail】 info@galleryparc.com

KYOTOGRAPHIE international photography festival - satellite event 2014 [KG+] 参加展覧会

光のシークエンス：大洲 大作

Sequences of Light : Daisaku Oozu

2014年4月22日[火] — 5月4日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日のみ20:00まで・最終日18:00まで



【広報画像03】

《光のシークエンス — 奥羽本線》

©Oozu Daisaku

大洲 大作 | Oozu Daisaku

写真をメディアムとする作家。京都・大阪・ベルリンのギャラリーと東京の美術館の企画展、ドイツの雑誌等にて作品を発表。

列車などの「車窓」にうつり滲む「光」に、目には見えない光景を追う《光のシークエンス》、風景の「影」に潜むものを探る作品《INVISIBLESCAPES》などを制作している。

略歴

1973 大阪に生まれる
1994-95 大阪国際写真センター(現、IMI 写真表現大学)にて写真を学ぶ
1997 龍谷大学文学部 哲学科を卒業

展覧会

2013 個展「PANORAMIC WINDOW/光のシークエンス」開催(サイギャラリー, 大阪)
2013 個展「光のシークエンス」開催(ENTRE DEUX, 東京)
2013 アートプロジェクト「東京画」への参加が決定
2012-13 東京ステーションギャラリー 再開館記念 企画展 出展(東京ステーションギャラリー, 東京)
2012 個展 "INVISIBLESCAPES —Images from Fukushima and all parts of Japan—" 開催
(galerie son, ベルリン ミッテ地区)
2011 東日本大震災復興支援チャリティ写真展 "FOR YOUR SMILE 311" 出展
(中之島デザインミュージアム de sign de >, 大阪)
2010 個展「光のシークエンス」開催(space B, 京都)
2009 グループ展 "Spiral Independent Creators Festival" 出展(スパイラル, 東京)
2008 個展 "Illusions of the Sea" 開催(galerie magenta, ベルリン フリードリヒスハイム地区)
2007 グループ展 "Junge Kunst" 出展(galerie son, ベルリン ミッテ地区)
1999 個展 "NO MAN'S LAND" 開催(The Third Gallery Aya, 大阪)
1996 個展「浸透圧」開催(The Third Gallery Aya, 大阪)

KYOTOGRAPHIE international photography festival - satellite event 2014 [KG+] 参加展覧会

光のシークエンス：大洲 大作

Sequences of Light : Daisaku Oozu

2014年4月22日[火] — 5月4日[日] 11:00~19:00 *月曜日休廊・金曜日のみ20:00まで・最終日18:00まで



【広報画像04】《光のシークエンス — 福島交通 南相馬—川俣・福島線 飯館村》 ©Oozu Daisaku



【広報画像05】《光のシークエンス — 秋田内陸縦貫鉄道 秋田内陸線》 ©Oozu Daisaku

大洲 大作 | Oozu Daisaku

車窓にうつろう光を追って、旅へ。まなざしを頼りに、目には見えない光景をうつし出す、近く遠い場所へ。

space B(2010年)、東京ステーションギャラリー(2012-2013年)での企画展に続く《光のシークエンス》新たな路程。

車窓にうつり、滲む、光と景(かげ)をうつす代表作を、新作を交え展示いたします。